

■□■2013年度 北海道大学大学院経済学研究科 社会経済学研究会 ■□■

【時間】16:00~17:00 (18:00)

【会場】W406 教室

※ 報告は、一人あたり60分(報告15分、コメント及びコメントへの返答20分、質疑応答25分)。

No.	日時	報告者・論題	討論者
1	4/25	佐々木憲介 『イギリス歴史学派と経済学方法論争』(北海道大学出版会, 2013年)	西部 忠
2	5/9	小林陽介 アメリカ経済の金融化と企業金融—企業と金融機関との関係に注目して—	藤村哲史
3	6/27	楠木 敦 シュンペーターとデュルケーム——社会学方法論をめぐって——	小林陽介
4	7/25	山本崇史 後期ピグーの外国貿易論—なぜピグーは自由貿易論に拘ったのか—	小林陽介
		小林大州介 シュンペーターの“発展”概念における新奇性と革新に関する一考察	楠木 敦
5	10/17	藤村哲史 経済学における宗教的要素の排除—シーニアの宗教観を通して—	山本崇史
		吉田昌幸(上越教育大学) 企業家精神—企業家になるとはどういうことか?—	岡部洋實
6	11/21	菊池 真 資本主義社会における価値の相互関連システムについて(研究ノート) 現存在と財の存在構造(補論)	橋本 努
		岡部洋實 労働価値説の見直しについて(解説と論点)	小林佑太
7	12/19	金 仁子 イギリスにおける最低賃金制成立 : 自由放任主義の下で賃金に対する国家の規制はいかにして可能となったのか	佐々木憲介
		曹 希(特別研究生) 現代日本マルクス主義の正義論; 竹内章郎の新たな平等論	菊池 真
8	2014/1/23	小林佑太 福田徳三の社会理論における「社会」概念と国家の位置づけ	小林大州介
		西部 忠 情報化とサービス化とは何か	金 仁子